

冬の安全・安心を守る NEXCO東日本の取り組み

雪と共に生き、冬期を快適に過ごすために

東北地方の冬期間における高速交通網の安全確保は、物流等を含め、地域経済安定のために重要となっている。この特集では、東日本高速道路東北支社の吉原健一管理事業部長に除雪、凍結防止など高速道路の定時制確保等の取り組みについて語ってもらうとともに、次世代の克雪技術で安全、安心を提供する企業を紹介する。



東日本高速道路東北支社
管理事業部長 吉原 健一

① 高速道路の維持管理について

東日本高速道路(NEXCO東日本)東北支社においては、2023年11月1日現在で高速道路10路線1,281km、一般有料道路9路線115kmの合計1,396kmとサービスエリア・パーキングエリアの休憩施設(122カ所)の管理運営を行っており、管内の平均通行台数は約44万台/日(2022年度実績)となっております。

高速道路は、人、モノ、文化等のさまざまな移動・交流を支える国の幹線道路であり、ほぼ全地域が積雪寒冷地域である東北地方では、特に冬期の交通確保は地域経済のみならず社会的にも大変重要であります。当支社では、過去の状況等を踏まえ11月～翌年4月の約6か月間を雪氷対策期間として管内13管理事務所で雪氷対応体制を構築するとともに、冬季においてもお客さまが安全・安心・快適・便利に高速道路をご利用いただけるよう24時間365日の管理運営および各種対策を実施して冬期の交通確保に努めております。

② 2022シーズンの気象状況および通行止め量

昨シーズン(2022)における降雪状況は、累計降雪量(東北支社管内19地点)で約7,050cm、過去10年平均(12～21)の約75%と平年より少ない傾向となりました。月別で見ると、寒候期(12月～2月)は平年を約2割程度下回る降雪、終



■高速道路本線の除雪状況

冬期(3月～4月)は特に降雪が少なく平年を約7.5割下回る降雪となりました。

また、雪による通行止めは、平年に比べて寒候期(12月～2月)は周期的に冬型の気圧配置となる傾向があったものの、終冬季(3月～4月)は記録的な高温となり通行止めが発生しなかったこともあり、過去10年平均の雪による通行止め量に対し約3割程度と大幅に減少する結果となりました。



■雪庇処理状況

③ NEXCO東日本東北支社グループの雪氷対策および広報活動

《大雪時の道路交通確保に向けた取り組み》

近年、非常に強い降雪が集中的かつ継続的に発生するなど降り方の変化に加え、強風を伴う吹雪等の発生に伴い、路面積雪や視程障害等による通行止めが度々発生しています。近年発生した大規模な滞留車両の発生を契機に開催された「冬期道路交通確保対策検討委員会(21年2月国土交通省開催)」や「令和2年12月関越自動車道 集中降雪に関する対応検討会(国土交通省、NEXCO東日本開催)」でとりまとめられた「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を基本方針とし、お客さまの行動変容を促す出控え広報や、雪による通行止め実施の可能性のある区間の情報の早期広報、滞留車両が発生した際の物資・情報等の適切な提供の取り組みなど、計画的な通行止め実施を含め関係機関と適切に連携し、対応するよう努めております。

《降雪時の走行環境改善に向けた取り組み》

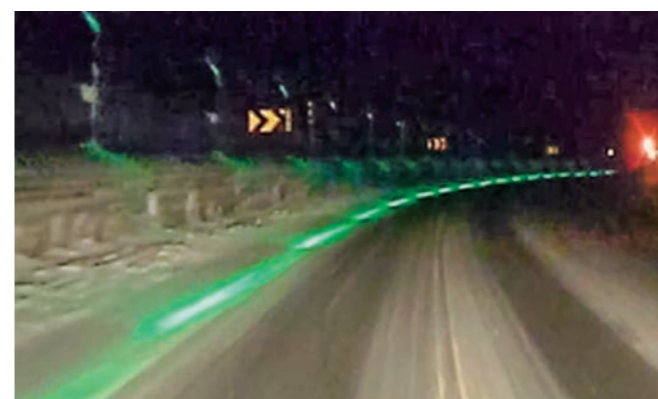
NEXCO東日本東北支社ではグループ会社一体となった雪氷体制を構築し、除雪・排雪、凍結防止剤散布作業等を適切かつ着実に実施するとともに、吹雪による視程障害への対応強化のため、冬期に現地調査等を行い、交通安全施設(防雪柵・雪崩防止柵・自発光デリニエーター等)の整備を順次進めるとともに、さらなる強化策として、毎年の視界

不良区間やカーブが連続する区間等では路肩に帯状視線誘導灯(帯状ガイドライト)を設置、中央分離帯には高輝度反射板(アイマーク)を設置するなど、走行環境の改善に努めております。また、除雪作業車や凍結防止剤散布車等には視線誘導灯(セーフティライン)を装着して作業エリアを明示することで、無理な追越しによる接触事故を防ぐ安全対策も行っています。

また、今シーズンからは新たに除雪車にウェアラブルカメラを搭載し、現地路面(降雪)状況をリアルタイムに把握し、除雪作業の効率化や通行止め解除に向けた路面状況の確認などに活用してまいります。

《お客さまへの情報提供》

冬期に適した運転や冬道ドライブの注意点等を知っていただくための安全運転キャンペーンの実施に加え、テレビ、ラジオ、ポスター、デジタルサイネージ等を活用した冬タイヤ装着や雪道安全運転の啓発活動をはじめ、お客さまへの情報提供を目的にWebサイトやX(旧Twitter)・LINEによる交通・気象予測の情報発信や、大雪予報時の出控え情報の発信、路面状況の画像をライブカメラにより提供するとともにサービスエリア・パーキングエリアでは56カ所で動画と音



■帯状視線誘導灯の設置



■凍結防止剤散布車(セーフティライン)



■ウェアラブルカメラの設置、路面確認状況

声により分かりやすくお客さまにお伝えする「ドライビングウェザーCh.(チャンネル)」を放映しています。

④ ドライバーの皆さまへのお願い

冬期の高速道路では、道路に積もった雪の除雪作業や道路が凍結しないよう凍結防止剤の散布作業を行います。作業は低速走行で行いますので、車間距離を十分とって安全な走行をお願いします。

なお、天候が良く、路面に雪が無い場合でも、中央分離帯に溜まった雪や、高速道路をまたぐ橋・標識等に積もった雪を除去する作業のため、速度規制や車線規制、時には通行止めを必要とすることがあります。また、降雪や事故等の影響により、速度規制や通行止め等が発生する場合があります。

大雪の気象予測がある場合は、不要不急の外出を控えることや広域的な迂回、出発時間の変更などの計画の見直しを行っていただきますよう、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

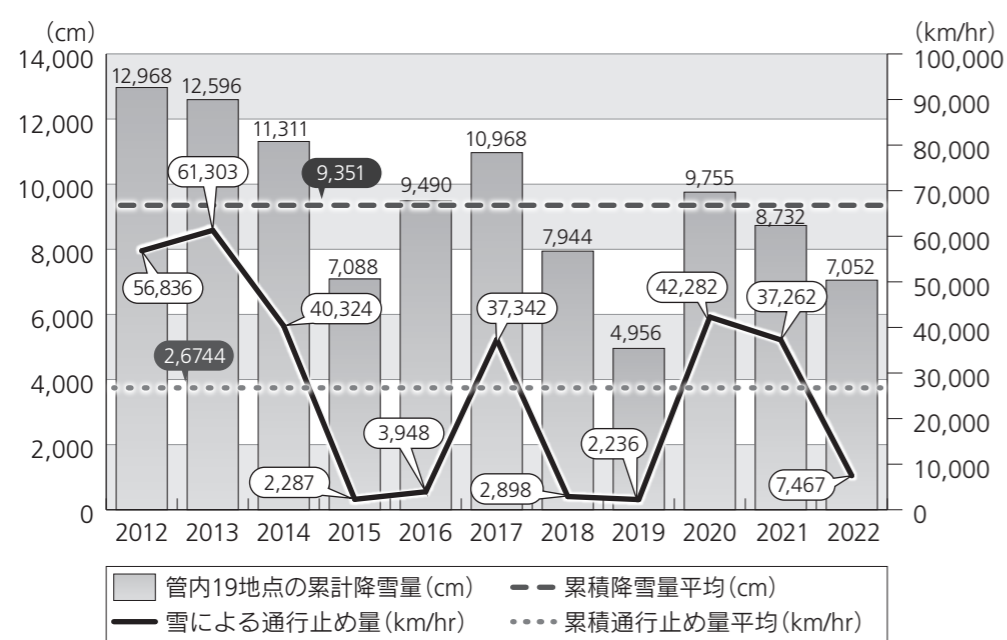
⑤ おわりに

NEXCO東日本東北支社では、グループ一体となって雪も含めた各種災害に強い道づくりに取り組みとともに、安全・安心・快適・便利にご利用いただけるよう、「高速道路管理のプロ集団」として24時間、365日、お客さまにより一層満足していただけるサービスをお届けしてまいります。



■LINEによる冬道情報配信

10年間の累計降雪量・通行止め量



目に見えない力強さは、冬の道で明らかに。高い品質と優れた耐久性。ロードヒーティングシステム。北日本電線株式会社。〒989-1761 宮城県東田郡東田町大字坂字台54番1号。TEL: 0224-58-7259 FAX: 0224-58-7280

橋梁排水管伸縮自在取付け金具。排水自在アーム。株式会社ネクスコ・メンテナンス東北。〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1丁目9番1号。TEL: 022-212-7470 FAX: 022-266-8046

雪氷作業用 衝突防止 セーフティライン。株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北。〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花見2丁目1番65号。TEL: 022-713-7317 FAX: 022-713-7323

再生可能な自然エネルギーを利用した消雪システム。今年も冬も雪かきを気にしない快適な生活! ジョサネ JQSANE。お見積無料!! お気軽にお問い合わせ下さい。TEL: 023-688-6002

冬の安全と快適を創造する。ロードヒーティングシステム。株式会社リョウセイ。〒982-0032 仙台市太白区富沢4-4-2小島ビル2階。TEL: 022-307-5260 FAX: 022-307-5261

KOWA 技術と創意で自然を活かす環境づくり。地中熱だけで雪をとく。地中熱ヒートパイプ融雪。株式会社興和。〒989-0005 宮城県仙台市青葉区中區新町1番11号。TEL: 025-281-8816 FAX: 025-281-8833

セピノン(雪庇防止板) セピノンVF(雪庇防止柵) キャブノン(冠雪防止板)。日本サミコン株式会社。URL: http://www.nihon-samicon.co.jp 仙台事務所 TEL: 022(372)7911

日本サミコン株式会社。URL: http://www.nihon-samicon.co.jp 仙台事務所 TEL: 022(372)7911